



なっとくんの

なるほどなっとくニュース



Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。↑

新教材「簡易偏光顕微鏡」の紹介

やまぐちほくぶつかん
山口博物館



地学担当学芸員と協力し、簡易偏光顕微鏡(8セット)を製作しました。中学校1年の理科や高等学校の地学で行われる火成岩の観察で、本教材を活用することにより、火成岩の組織や鉱物の特徴について、より効果的な学習活動となることでしょう。

簡易偏光顕微鏡の使い方を紹介します。

- ① 学校にある生物顕微鏡を用意します。
- ② 対物レンズを低倍率にし、反射鏡やしぼり、あるいはランプの光量を調節して視野を明るくします。
- ③ 図1のように、ステージの上に偏光板Aを置き、その上に岩石プレパラートを置きます。
- ④ ピントを合わせ、観察します。(図3A)
- ⑤ 岩石プレパラートをステージからはずします。
- ⑥ 図2のように、接眼レンズに偏光板Bをかぶせ、接眼レンズをのぞきながら、視野が真っ暗になるように偏光板Bを回転させます。
- ⑦ 岩石プレパラートをステージに置き、観察します。(図3B)

図1

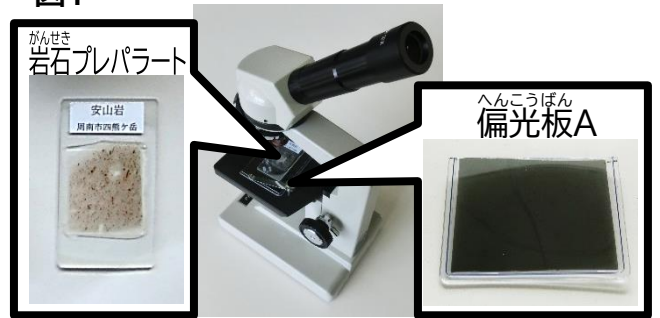


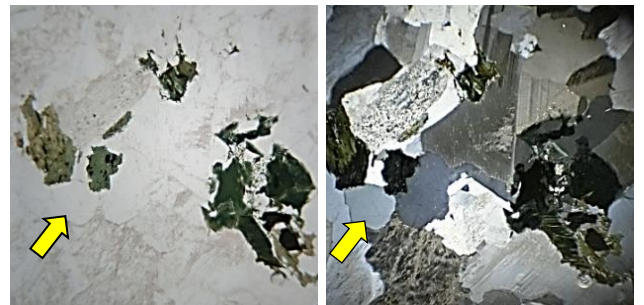
図2



図3(花崗岩の岩石プレパラートを観察)

A

B



偏光板Bを回転させると、鉱物の種類によって見え方が変わります。この簡易偏光顕微鏡を使うことで、火成岩の組織の区別や鉱物の種類の判別など火成岩の観察の内容がはるかに広がります。

レッツ
チャレンジ!

簡易偏光顕微鏡は、花崗岩と安山岩の岩石標本・岩石プレパラートとセット(右の写真)になっています。図3の➡の無色透明の鉱物は何でしょう? ヒントは右の二次元バーコードから。

A セキエイ



ヒントは
コチラ↓

